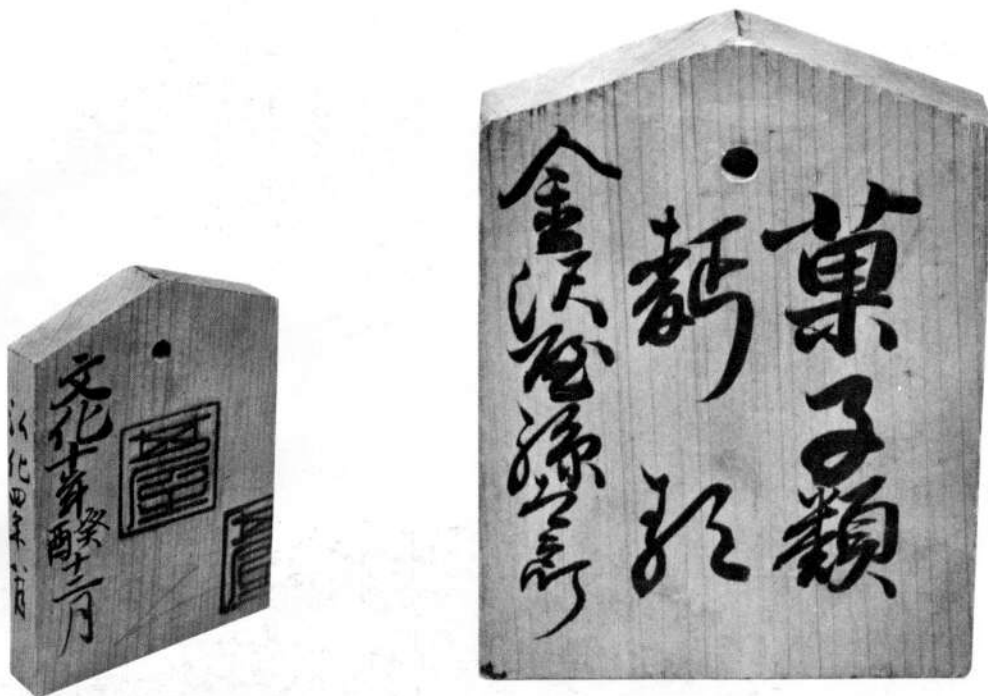


秘蔵そば道具とそばの周辺

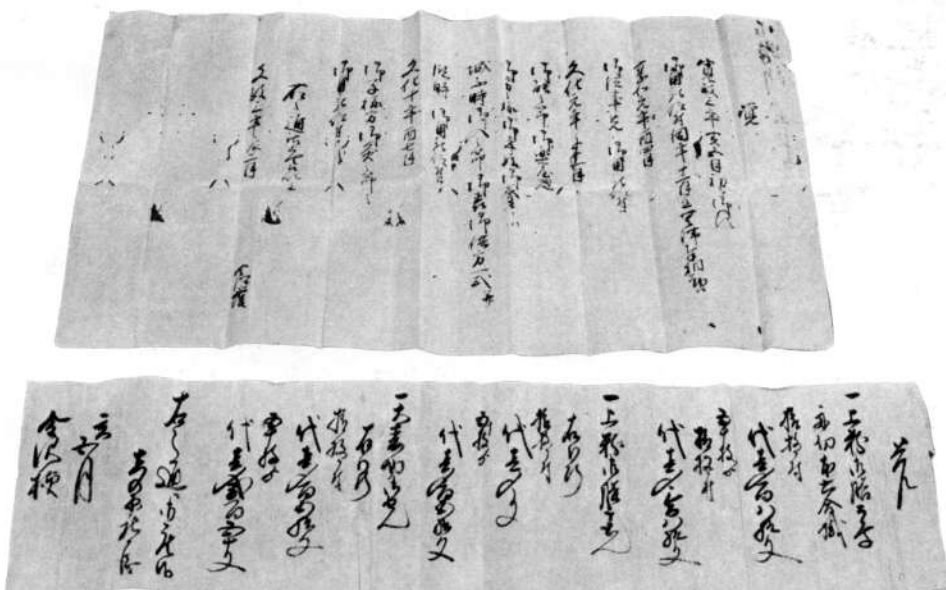


江戸城・大名屋敷出入り御免の鑑札(左は裏側)

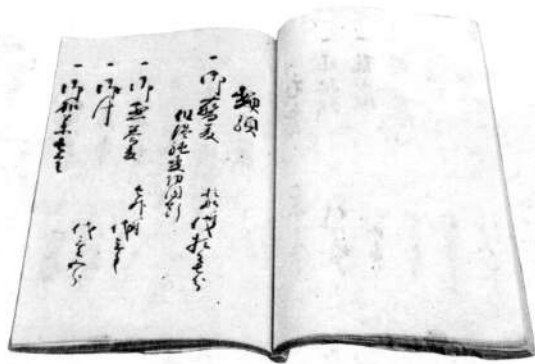
江戸時代の名高い菓子商・金澤屋が蕎麦も販売しており、特に御用商をつとめた(文化十年発行)

金澤屋の麺類の見積書と大名の支払覚書き

金沢丹後は元禄期から栄えた御菓子御用達の老舗。
蕎麦店も兼業しており、多くの文書が残されている



—— 伝統とロマンの世界



大名から金澤屋への蕎麦の注文書と品書き



永坂更科・小林勇氏所蔵

明治時代のなべ焼うどん用鍋
 当時は酒の肴として供されたのでサイズは小さい



団子坂蕎屋(明治40年廃業)で使われた盃
 今の藪蕎麦の前身といわれる。震災で焼け残ったもの



並木藪蕎麦・堀田平七郎氏所蔵

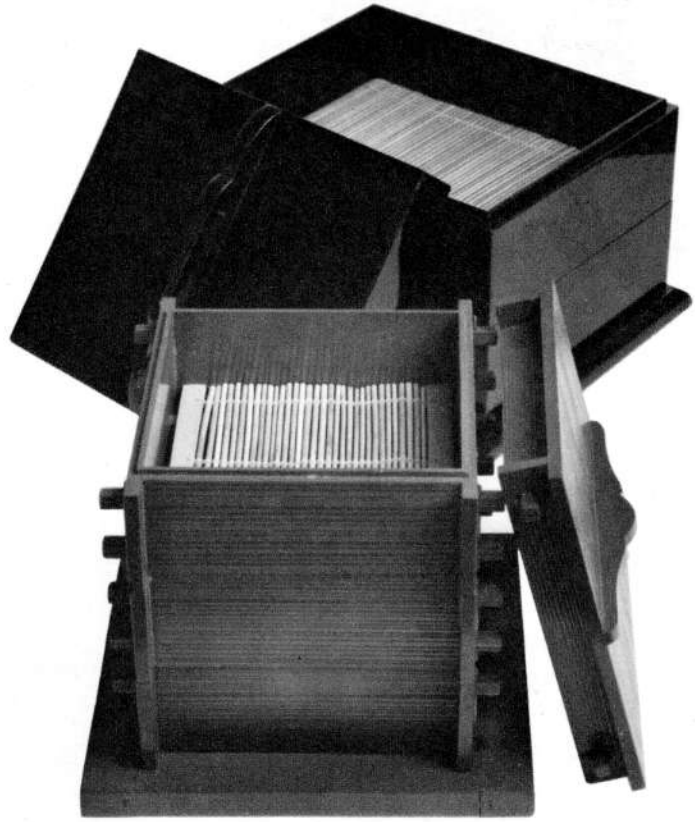
古い割子そば用せいろ

荒木屋・浜村旭氏所蔵

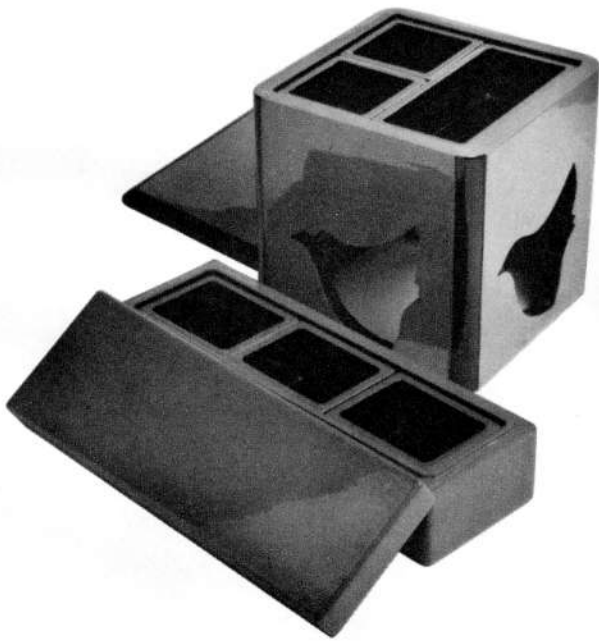


江戸時代のせいろ各種

うるし塗りで、朱や黒を基調とし、大名が愛好した



江戸時代のそば碗セット(古向焼)



江戸時代の薬味入れ各種